

⑫ 公開実用新案公報 (U) 平3-66338

⑬ Int. Cl.
E 04 F 13/08
13/14

識別記号 庁内整理番号
M 7023-2E
101 H 7023-2E
102 E 7023-2E

⑭ 公開 平成3年(1991)6月27日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 下見板

⑯ 実 願 平1-128748
⑰ 出 願 平1(1989)11月1日

⑱ 考案者 亀澤 清武 東京都中央区日本橋室町2丁目5番13号 三井第五別館東レグラサル株式会社内
⑲ 考案者 東久世 道昭 滋賀県大津市園山1丁目1番1号 東レグラサル株式会社
建材開発研究所内
⑳ 出願人 東レグラサル株式会社 東京都中央区日本橋室町2丁目5番13号 三井第五別館
㉑ 代理人 弁理士 中尾 充

㉒ 実用新案登録請求の範囲

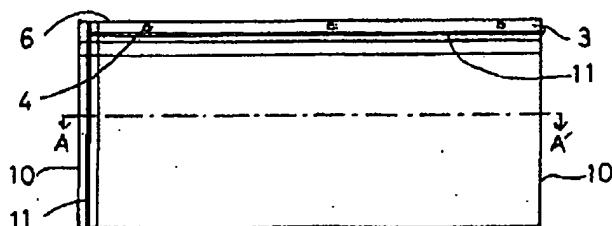
複数枚が羽重ねに基材に取付けられる下見板であつて、凸形状の上縁面と、下縁近房の裏面に横方向に設けられ、かつ下側の面が凹形状である支持脚とを有し、かつ、基材に取り付けられるに際して、上下に隣合う下見板の上記上縁面と、上記支持脚の下側の面とが互いに嵌め合いで係合される形状に、左右に隣り合う下見板が、縦方向の縁面で合じやくりで重ね合わされる形状に形成されるとともに、上縁近房の羽重ねの基材側に位置する部分で、基材に固定されることを特徴とする下見板。

㉓ 図面の簡単な説明

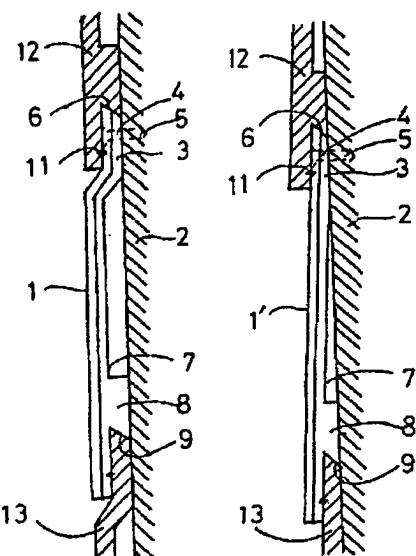
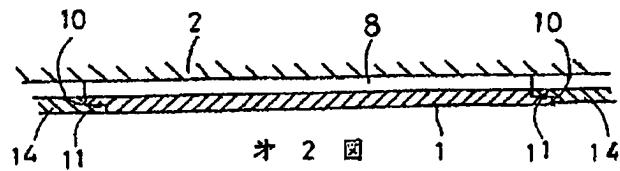
第1図は、本考案の実施態様の一例である下見板の正面図である。第2図は、第1図に示されて

いる下見板1が、基材2に取付けられた状態の断面図 (A-A') である。第3図は、第1図に示されている下見板1が、基材2に取付けられた状態の左側面図である。第4図は、本考案にかかる下見板の実施態様の他の一例の下見板1'が、基材2に取付けられた状態の左側面を示す参考図であつて、上記の例の第3図に相当する。

1, 1' ……下見板、 2 ……基材、 3 ……羽重ね部分の基材側に位置する部分、 4 ……孔、 5 ……止め金具、 6 ……上縁面、 7 ……下見板の裏面側、 8 ……支持脚、 9 ……支持脚の下側の面、 10 ……縦方向の縁面、 11 ……ライン溝、 12 ……一段上の下見板、 13 ……一段下の下見板、 14 ……左右に隣合う下見板。



第1図



寸4図